

が最も失敗の根本原因であった。  
然し吾々王電従業員の唯一の城砦である市電自治会王子支部を飽くまで死守せねばならぬ。従業員の團結が崩れ足並が乱れ、は蓋々会社はその間隙に乗じて策三策三の暴圧の魔の手は職場に電車内に休憩中に今や至る如に露骨になつて居るではないか!!

王電の元身 諸君!!  
吾等は今回争議に依つて尊い試練を受けたのだ。鉄火の洗礼を受けたのである。この尊い実践の経験は今後活用し固く往年の自治会王子支部たらしめねばならぬ。  
王電全従業員諸君!!

今初に於ける王子支部の確立のため当面何をなすべし、か。それは今回の争議に依りて成た尊い犠牲者を救済せねばならぬ。この犠牲者こそ光輝ある自治会王子支部発展の基礎となりぬ!!

犠牲者と救済せよ。王電争議団は一先づ解決した。然し乍ら我々の精神的結合は堅く続はれてゐるのだ。吾等は飽迄自治会王子支部と死守する事を誓ふものである。

犠牲者と救済せよ。王子支部を守れ!!  
市電自治会王子支部  
犠牲者と救済委員 会

一九二八年一月一日

労社 第七九號

寫

和三年一月十四日

警視總監 宮田光雄

内務大臣 鈴木喜三郎 殿  
社会局長 官 殿  
大阪神奈川兵庫各府縣知事 殿

王子電氣軌道株式会社労働争議之關スル件 (第十二報) 解決

要旨  
議團側解雇者ハ既報通り會社側ノ諒解ヲ得テ本月九日供託局ヨリ各  
自、解雇手当ヲ受領シ更ニ同日貸與品ヲ返納同情金ヲ受領セリ

標記争議ハ事實上客観二十七日ヲ以テ争議團側ハ終結